

2023年8月10日

各位

会社名 株式会社ダイキアキス  
代表者名 代表取締役社長 CEO 大亀 裕  
(コード番号：4245 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役副社長 CFO・CCO 堀淵 昭洋  
(TEL：089-927-2222)

## 特別損失の計上に関するお知らせ

株式会社ダイキアキス（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：大亀 裕）は、下記のとおり特別損失の計上についてお知らせいたします。

### 記

2023年7月18日に公表しました「弊社製品における認定との不適合の発生についてのお知らせ」に関しまして、2023年12月期第2四半期連結累計期間において1億98百万円を「製品不具合対応費用」として特別損失に計上いたしました。「製品不具合対応費用」は認定仕様との不適合状態解消を進める際に発生すると見込まれるものであり、その内訳は以下のとおりです。

なお、当該製品は他社開発製品を当社ブランド名で製造・販売しているものであるため、本件に関して発生した費用につきましては開発元法人の負担とする協議を進めております。本日付で公表しております通期業績予想の修正におきましては、当該法人の財政状態および回収予定時期等を勘案し、当連結会計年度内に回収が見込まれる金額を特別利益として反映していることから、通期の連結当期純利益に与える影響は限定的であります。

#### ①DCX型

DCX型浄化槽は、浄化槽の容量が認定仕様に不適合であることが判明しております。既に設置されて使用中の浄化槽に関しては、本件による強度面の安全性に問題がないことおよび処理水質の状況から環境に影響がないと考えられることから、設置済みの浄化槽と同じ仕様にて認定を取得することで対応を進めています。

今回、特別損失に計上いたしました見積金額につきましては、2023年4月に出荷を停止した時点で完成検査を受けていない案件について建築基準に合致させ、建築確認を受けるには浄化槽本体を入れ替える必要がありました。この入れ替えに要する費用を集計したものであり、その金額は当第2四半期連結累計期間においては1億85百万円と見積もっています。

#### ②DCW型

DCW型浄化槽は、浄化槽の担体（充填材）量が認定仕様に不適合であることが判明しており、その状態を解消するためにはDCX型と同様に設置済みの浄化槽と同じ仕様にて認定を取得するか、担体の量を規定量まで追加で投入する必要があります。認定仕様に適合させるために、本件判明後に出荷している浄化槽は規定量の担体を投入した上で出荷をおこなうとともに、設置済みの浄化槽への担体の追加投入を行う作業を進めています。

今回、特別損失に計上いたしました見積金額につきましては、設置済みの浄化槽への担体投入に要する費用を集計したものであり、その金額は当第2四半期連結累計期間においては13百万円と見積もっています。

参考資料：弊社製品における認定との不適合の発生についてのお知らせ

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03821/99531343/bee5/4c05/b3c3/b01fdadd9c95/140120230718523339.pdf>

以上

■本件に関するお問い合わせ  
株式会社ダイキアキス 経営企画部  
Email：[ir@daiki-axis.com](mailto:ir@daiki-axis.com)